

## 施策評価調書(22年度実績)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存と活用	施策コード	V-3-(2)
	政策名	多彩な県民文化・県民総スポーツの振興	主管部局名	教育庁
			担当課室名	教育財務課
施策概要	県内には、長い間受け継がれてきた文化財・伝統文化が数多く残されている。これらは、地域の歴史や文化を理解するうえで重要なものであるとともに、将来にわたって文化の向上発展の基礎となるものであるため、その保存と活用を図る。			

### 【評価指標】

主な取組		指標		基準値		22年度			27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値
①	文化財・伝統文化の愛護意識の高揚	i	文化財愛護少年団数	16	61	64	58	90.6%	67
②	文化財・伝統文化の保存と継承	ii	国・県指定文化財数	16	835	870	867	99.7%	900
③	文化財・伝統文化の活用と情報の発信	iii	県立歴史博物館、先哲史料館の入館者数(年間)	16	105,440	117,400	81,622	69.5%	127,400
		iv	県立歴史博物館、先哲史料館の訪問講座回数(年間)	16	24	29	49	169.0%	34
						平均達成率(%)		107.2%	

### 【業績評価】

No.	業 績 評 価			平均 評価
i	概ね達成	文化財愛護活動の強化・発展と、団体の新規加盟に積極的に取り組み、概ね目標値を達成した。		
ii	概ね達成	地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録の推進により、概ね目標値を達成した。		
iii	著しく不十分	特別展などの広報に努めたが、来館者が減少したため目標値を達成できなかった。		
iv	達成	積極的に訪問先の学校などに働きかけるなどして、目標値を達成した。		概ね達成

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

指標 No.	事業名	事務事業評価		事業コスト
		総合評価	掲載頁	
i	1 郷土の先達・地域文化顕彰事業	現状維持	-	4,500
ii	1 文化財の戦略的保存・活用推進事業	現状維持	240	29,568
iii	1 特別展開催事業(歴史博物館)	見直し(24年度)事業内容の変更	-	9,138
iv	1 先哲史料館史料収集活用事業	現状維持	-	7,289

【構成事業の妥当性】

文化財・伝統文化の保存や活用を図るためには、現状の構成事業は妥当である。

【施策主管部局評価】

評価	ア 拡充	イ 現状維持	ウ 見直し
理由		文化の創造と発展のため、貴重な郷土の文化財・伝統文化の保存や活用を強化するための施策を引き続き推進していく必要がある。	

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

指標 No.	事業名	取組内容	事業コスト
i	1 郷土の先達・地域文化顕彰事業	地域にゆかりのある芸術会館収蔵品等を展示する「地域巡回美術展」を開催	4,500
ii	1 文化財の戦略的保存・活用推進事業	観光・ツーリズムの観点から文化財の戦略的保存活用を図る	40,781
iii	1 特別展開催事業(歴史博物館)	特別展「仏さまの“ひみつ”」の開催	17,715
iv	1 企画展開催事業(先哲史料館)	妻と母と作家の統一に生きた人生 —野上弥生子の百年—の開催	6,959

【今後の施策展開の方向性】

- ・貴重な郷土の文化財・伝統文化の保存や活用を引き続き推進
- ・地域の観光拠点となっている文化財の集中的な整備
- ・国指定文化財の指定を推進するための戦略的な条件整備
- ・文化財の保存整備を、新たな観光素材として戦略的に活用するための積極的な情報発信